

2019年3月7日

NTT東日本 福島支店

会津美里町における RPA 実証実験への協力について

NTT東日本 福島支店(支店長:山口圭介)は、会津美里町(町長:渡部英敏)が実施するRPA技術(※1)を活用した業務効率化の実証実験に下記のとおり協力いたします。

※1 RPA=Robotic Process Automation の頭文字。ソフトウェアロボットが業務プロセスを自動で処理する。

記

1. 背景・目的

自治体業務にはパソコンなどを用いた定型的業務が数多く存在しますが、RPAツールを活用して業務を自動化することにより、職員の手作業削減など、業務効率化が期待できます。

また、効率化した分の時間を創造的事業や町民とのコミュニケーションに充てることで、町民サービスの向上や、職員の時間外勤務の削減などの働き方改革も期待できます。

今回会津美里町では、働き方改革の一環として町役場にてRPAツールを活用した業務の一部自動化を試験的に実施いたします。

NTT東日本は、社内の業務効率化を通じて蓄積した『WinActor®』(※2)のノウハウを活用することで、「定型的業務の効率化」という、どの自治体・企業等にも存在する経営課題の解決に貢献できると考え、本実証実験への協力にいたしました。

NTT東日本は、今後も自治体業務のデジタル化を推進する新たなサービスの展開などを検討してまいります。

※2 『WinActor®』は NTT アクセスサービスシステム研究所で研究開発された技術をベースに、エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:木村文治)が商品化した純国産 RPA ツールです。

2. 実証実験概要

(1) 期間(予定)

① RPA ツール利用期間

2019年2月28日(木) ~ 2019年3月29日(金)

② 効果検証・コンサルティング実施期間

2019年3月中旬 ~ 2019年4月26日(金)

(2) 場所

会津美里町役場内(会津美里町字宮北3163番地)

(3) 内容

RPA ツール「WinActor」を活用した会津美里町職員の定型的業務の自動化

(対象となる定型的業務)

- ・ 人事給与業務におけるデータ転記
- ・ 源泉徴収票用データ作成

3. 役割

<会津美里町>

実証実験を実施する業務および実施場所の選定、RPA ツールのインストール端末の準備、RPA ツールの運用、実証実験結果の提供等

<NTT東日本 福島支店>






RPA ツールの提供、RPA ツールの導入支援(業務の絞り込みからシナリオ作成までの支援)、実証実験結果の取りまとめ等

4. その他

RPA ツール「WinActor」による業務自動化イメージは下図のとおり

以上

■ RPA ツール「WinActor」による業務自動化イメージ

作業項目	WinActor 動作箇所	概要
入力・登録	 繰り返しの登録・転記 → 基幹システム等	システムへ大量データの登録等 繰り返し入力を実施
集計・加工	 収集・加工・共有 → ファイルサーバ	データを収集・加工し、 メールやファイルサーバで共有
データチェック	 照合 → 一致 (○) / 不一致 (×)	複数情報の相互突合チェックや ルールに基づいた比較チェック
システム間連携	 XLS, TXT, CSV → 各種機器 → ファイル取得加工・登録 → 基幹システムや公開サーバなど	直接連携できないシステムや機器 からの情報を連携
情報収集	 Webサイトやニュースサイト → 収集・データ化 → XLS → 基幹システム等	Webサイトの情報を収集し、 定期的にデータ化

上記項目を組み合わせの上業務を自動化することが可能です